



さとことブレスト

まちづくりの中で道路を考える対話集会

報告：杉並建築会

さとことブレストとは？

都市計画道路事業に着手している**西荻地域**と**高円寺地域**において、岸本区長を交え、年代層や立場の違う様々な住民と対話を通じて議論を深め、安全・安心のまちづくりに繋げることを目的に、まちづくりの中で道路を考える対話集会。

ファシリテーターの杉並建築会とは？

杉並区在住・在勤の建築専門家の集団・3団体で協働

- 東京建築士会杉並支部
- 東京都建築士事務所協会杉並支部
- 日本建築家協会杉並地域会

2013年4月に杉並区とまちづくりに関する協定締結

地域社会と連携し、専門知識を生かしたまちづくりのため、第三者性を持って専門家の立場から行政に代わって住民の支援を行う

まち歩き (希望者のみ)

プレストのルール説明

テーマに沿って、各班で意見交換
区長が各班を順番に回って対話に参加

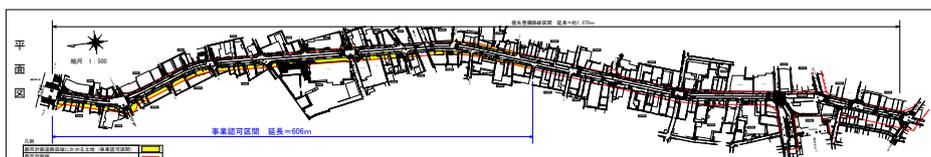
ブレイクタイム ファシリテーターによる情報提供

各班でさらに意見交換

各班、代表者からの発表
全体での意見交換

区長からのコメント

© suginamikenchikukai



東京都市計画道路事業 幹線街路 補助線街路第132号線とは？

杉並区内の上荻四丁目から西荻北三丁目までの計画道路。(事業認可区間)

© suginamikenchikukai

回数	開催日時	場所	参加者 (応募者)	参加対象者	備考
1	10月22日(土) 16:00~18:30	西萩地域区民センター (勤労福祉会館)第一、第二集会室	20名 (30名)	西萩窪駅周辺まちづくり懇談 会メンバー	132号線まち歩き 参加者5名
2	11月7日(月) 16:00~18:30	西萩地域区民センター (勤労福祉会館)第一、第二集会室	17名 (25名)	補助132号線関係権利者 西 萩窪駅周辺町会長、商店会長	132号線まち歩き 参加者4名
3	11月10日(木) 16:00~18:30	西萩地域区民センター (勤労福祉会館)第一、第二集会室	17名 (19名)	西萩窪駅周辺にお住まいの方 (60歳以上中心)	132号線まち歩き 参加者8名
4	12月7日(水) 14:00~16:00	座・高円寺 (杉並区立杉並芸術会館) 阿波おどりホール	11名 (13名)	補助221号線関係権利者 高円寺駅周辺の町会、 自治会長、商店会長	221号線まち歩き 参加者10名
5	12月10日(土) 10:00~12:30	西萩地域区民センター (勤労福祉会館)第三、第四集会室	16名 (44名)	一般応募者(西萩)	132号線まち歩き 参加者8名
6	12月11日(日) 14:00~16:30	高円寺学園 (3階 多目的・ランチルーム)	20名 (31名)	一般応募者(高円寺)	221号線まち歩き 参加者12名
7	12月14日(水) 16:00~18:00	高円寺学園 (3階 多目的・ランチルーム)	10名 (10名)	一般応募者	221号線まち歩き 参加者8名
8	12月20日(火) 14:00~16:30	高円寺駅前集会室 (ホテルメッツ高円寺3階)	5名 (8名)	一般応募者 (20代~40代の方)	221号線まち歩き 参加者1名

© suginamikenchikukai

まち歩き：

今回の対象となっている街路を
西萩窪駅から参加者と共に歩く。



プレストのテーマ：

- ・まちづくりの関心事はどこにあるか
- ・道路について、どうあると良いのか
- ・今後のまちづくりや道路整備の進め方



© suginamikenchikukai

ブレイクタイム：まちづくり・道づくりの最近の動向、関連法規・制度、事例紹介(国内外)など



コペンハーゲン市内の自転車専用道路

コペンハーゲンのストロイェ通り
(歩行者天国の先駆け 1965〜)



3) 日本の動向 (ワーカブルな街)

3.1 歩行者天国の活用はますます

- 歩行者天国の活用はますます。歩行者天国は、歩行者の安全と歩行者天国の活用を促進する効果があります。
- 歩行者天国の活用は、歩行者の安全と歩行者天国の活用を促進する効果があります。

1. 大塚駅前 / 高塚駅前

概要
高塚駅前から駅前まで伸びる歩行者天国は、歩行者の安全と歩行者天国の活用を促進する効果があります。

社会実験「てなみち」の様子
社会実験「てなみち」の様子

3. Marunouchi Street Park / 東京都千代田区

社会実験「Marunouchi Street Park」の概要
2023年7月スタートした歩行者天国の活用を促進する効果があります。

© suginamikenchikukai



第1回 西荻まちづくり懇談会メンバー 20名

- ・懇談会のメンバーが中心であり、現状の良さを生かしながらの歩行者中心のまちづくり・みちづくりの意向が多く出された。
- ・駅前のまちづくりと連動した既存のオーナー・テナントが居続けられ、既存商店が生き続けられる歩行者中心のみちづくりが必要との意見が出された。
- ・住民、歩行者の居場所づくりが大切、其の為の社会実験等の積極的実践の要望があった

第2回 地権者・町会自治会長、商店会長 17名

- ・地権者が中心の参加者の為、道路計画事業への疑問から現状維持要望の意見が多く出された。
- ・現在の商店街の保全、ビルのオーナー、テナントが居続けられる方策検討、バスの小型化等道路事情に合った交通手段の検討等、現状の良さを優先するべしとの意見が多かった。
- ・住民意向が反映できる みちづくりまちづくり事業展開の要望が出された。

第3回 60歳以上の方+西荻まちづくり懇談会のメンバー 17名

- ・長く住み続けている方の参加者が多く、現状尊重、安全安心が主要な意見の方向と見て取れた。
- ・愛着を持った人が住み続けられる方策が必要、地権者、商店会等直接関係者の意向を尊重し現状の良さを如何に継続するかの意見が多くみられた。
- ・余り車が来行きしない西荻の良さを活かし、歩行者優先道路が居場所となると良い。

第4回 一般応募者 16名

- ・多様な自由参加のメンバーで、まちづくりに意識の高い、広い見識を持った参加者が多かった。
- ・個性的な散在店舗と駅前商店の回遊ネットワークを西荻の魅力として保全したい。
- ・共同建て替え等現在の居住者、テナントが居続けられる方策が大切。
- ・災害の多い昨今の状況から、非常時と日常時の双方が上手く行くフェーズフリー対応が大事。

© suginamikenchikukai

1) みちづくり・まちづくりのイメージ

- ・商店街も駅前からいろんな商店があった。できればコンパクトな、まとまった まちづくりをしてほしい
- ・西荻は個人のお店が多くほっとする良さが有る、それが評価されて人口が増えている良さを残したい
- ・西荻のコンセプトは、椅子に座り「たい焼きが温かいうちに食べられるような町」「アイスが溶けないうちに食べられる町」だと、イメージがしやすくよいのではと思う。
- ・西荻は通過する車も少ない、区道を走っている車の数も少ないので、他の所に比べると歩きやすいエリアの特性を活かしたい
- ・子どもも高齢の方も年齢に合わせた居場所があるようにして頂きたい。ぜひ社会実験という名目のもと試してもらいたい。試してみながら、いいとか、うまくいかないということを我々と一緒に確認していけたら住民も納得してまちづくりに関わっていると思える

© suginamikenchikukai

2) 事業や協議の進め方

- ・ 今回のような対話の交流会を設けていただくと非常に有効、それから合意形成を図っていく、ビジュアル化も大切である
- ・ 区民、住民が主導して方向性を決め、区は一緒に進める必要がある
- ・ 小学生の話も、20・30代の意見も是非聞いてほしい
- ・ いろんな立場の人の考えを聞いて「こういう道にしたいね」という話し合いのプロセスがあると、結論がたとえ同じだとしても納得感が増す
- ・ 計画当時と今では防災の基準がそもそも違う。この計画は大丈夫か
- ・ 計画を止めるという選択肢も有るべきで、その勇気も持つべきでは
- ・ 道路拡張となるとほとんどのテナントがなくなってしまうので、テナントに対してのオーナーの心遣いを考慮した補償にしてほしい

3) 西荻窪の魅力・懸念

- ・ 大資本やチェーン店が今以上に増えてしまったら、西荻・杉並らしさはどこへ行ってしまうのか
 - ・ 商店街に色々な店があり、個人のお店が切磋琢磨するのが西荻の良さ
 - ・ 西荻周辺はごちゃごちゃしているが、逆にそれが街の特徴・魅力であるため、この特色を無くしてほしくない。
 - ・ 便利だったら良いと言う訳でなく、心地よい不便さが西荻の緩さ・楽しさに繋がっている。
 - ・ 昔から小さな商店が有って、吉祥寺と違ってこじんまりとした町の良さを残したい
- × 駅前歩道が狭く、人と自転車との共存に危険がある
× 神明通りは、歩車が入り乱れて危険
× 駅前のバス・車と交差する人の動きが錯綜していて危険

4) まちづくりのありかた

- ・西荻らしさが欲しい。商店街も駅前から色々な商店があった、できればコンパクトな、まとまったまちづくりをしてほしい
- ・駅前一点豪華主義になると、人が回遊しない、まち歩きにはつながりにくいのではないか。
- ・未来を考えると、車はどんどん減っていくから緑や人に優しい町、お年寄りや子ども、女性が安心して過ごせる町になってほしい。
- ・駅前飲み屋街がある意味の西荻らしさ、良い雰囲気を残すことと安全と衛生の両立を実現できないか
- ・今の良さを残しながら非常時と日常時両方が上手くいくような町に
- ・滞在できる道、フェーズに関わりなく利用で良き場所、困った時に助けて貰えるような場所

© suginamikenchikukai

5) みちづくり - 人のための歩きやすく居場所としてのみちづくり

- ・事例の様なウォークブルでなく、住宅地版のウォークブルを西荻で作ったらいいのでは
- ・社会実験でモデルロードを作ってもらい実際に見てもらったら良い
- ・銀座通りの様な無電柱でガードレールの無い歩きやすい道
- ・ベビーカーや小さい子供連がポーと歩ける道、人との出会いを含めて安全に歩ける道
- ・歩道を広く、ゆっくり歩けるようにすること。目的がなく来てもくつろげるスペースがあると良い。
- ・ただ拡幅するだけでなく、駐輪場の適正配置やルール化によって、自転車と歩行者が共存できるようなみちづくり

© suginamikenchikukai

5) みちづくり- 車道の作り方・道路予定地の活用

- ・道路を一車線にして、あまり車が行き来しないように、車のスピードが出ないようにし、歩くところを広くして、ゆったりとしたまちを作っていきたい
- ・道路を通りにくくする、もしくは車両進入禁止にする。その空いたスペースは自然と公園みたいに子供の遊び場になるのではないか
- ・バスや緊急車両等のスムーズな通行と通過交通を減らす両立が必要
- ・過程で空き地を有効活用する。キッチンカーや街路樹周りの椅子等、人の憩いの場となるような場所作りをしてほしい
- ・計画が進んでいて歯抜けになった土地を積極的に使ってパブリックスペースとして活用する。
- ・空き地や、個人の方の土地を自転車置き場として貸してもいいのではないか。

© suginamikenchikukai

大切にしたい意見 ファシリテーター（杉並建築会）から

- ・駅前商店街と散在商店の複合した既存の魅力を損なわないまちづくり
- ・住人、テナントが居続けられるまちづくり
- ・まちづくりと連携したまちづくり
- ・人の為の道、人・自転車・車の共存の出来るまちづくり
- ・日常にも非日常にも対応できるフェイズフリーなまちづくり
- ・事業実施中も街の魅力を損なわない、魅力を増すような実施プロセス
- ・社会実験等を通じて、住民・関係者の参加と納得のゆく事業法

© suginamikenchikukai

今後に向けて ファシリテーター(杉並建築会) から

- ・ 中立的第三者を交えた住民参加協議の継続
- ・ まちづくりと連動した道路計画事業協議の継続と計画反映への道筋創り
- ・ まちづくりと連動した道路計画事業推進策の検討・協議
- ・ 計画の可能性を示唆した多様な計画案の提示と協議の推進
- ・ 社会実験等を含めた多様な住民合意手法の実施方策の推進



東京都市計画道路補助線街路第221号線事業とは？

杉並区内の高円寺北一丁目4番から1番先（環七から中野区と区界まで）の都の認可が下りている計画道路。



© suginamikenchikukai

回数	開催日時	場所	参加者 (応募者)	参加対象者	備考
1	10月22日(土) 16:00~18:30	西荻地域区民センター (勤労福祉会館)第一、第二集会室	20名 (30名)	西荻窪駅周辺まちづくり懇談 会メンバー	132号線まち歩き 参加者5名
2	11月7日(月) 16:00~18:30	西荻地域区民センター (勤労福祉会館)第一、第二集会室	17名 (25名)	補助132号線関係権利者 西 荻窪駅周辺町会長、商店会長	132号線まち歩き 参加者4名
3	11月10日(木) 16:00~18:30	西荻地域区民センター (勤労福祉会館)第一、第二集会室	17名 (19名)	西荻窪駅周辺にお住まいの方 (60歳以上中心)	132号線まち歩き 参加者8名
4	12月7日(水) 14:00~16:00	座・高円寺 (杉並区立杉並芸術会館) 阿波おどりホール	11名 (13名)	補助221号線関係権利者 高円寺駅周辺の町会、 自治会長、商店会長	221号線まち歩き 参加者10名
5	12月10日(土) 10:00~12:30	西荻地域区民センター (勤労福祉会館)第三、第四集会室	16名 (44名)	一般応募者(西荻)	132号線まち歩き 参加者8名
6	12月11日(日) 14:00~16:30	高円寺学園 (3階 多目的・ランチルーム)	20名 (31名)	一般応募者(高円寺)	221号線まち歩き 参加者12名
7	12月14日(水) 16:00~18:00	高円寺学園 (3階 多目的・ランチルーム)	10名 (10名)	一般応募者	221号線まち歩き 参加者8名
8	12月20日(火) 14:00~16:30	高円寺駅前集会室 (ホテルメッツ高円寺3階)	5名 (8名)	一般応募者 (20代~40代の方)	221号線まち歩き 参加者1名

© suginamikenchikukai

まち歩き：

今回の対象となっている街路を
中野駅を起点に参加者と共に歩く。



プレストのテーマ：

- ・お住いのまちで大事にしたいもの、
残したいもの
- ・まちの課題や良くしたいところ



© suginamikenchikukai



© suginamikenchikukai

ブレイクタイム：自転車専用レーン・高架下利用など国内外の事例紹介



© suginamikenchikukai

各班から発表！



© suginamikenchikukai

第1回 関係権利者、高円寺地域の町会自治会長、商店会長 11名

- ・長年この地域に暮らしてきた人たちが多く、文化や自然の継承についての意見が多く出た。
- ・高円寺学園の子どもたちの安全についての配慮を求めている
- ・防災・安全のための道路整備の必要は感じつつも、交通量が増えることへの懸念が示された

第2回 一般応募者 20名

- ・道路事業に対して、疑問視する意見が多かった。
- ・歩行者・自転車に優しい道づくりが最優先。交通量が増えることは望まない。
- ・地域コミュニティの分断を懸念する声もあった。高架下利用についても賛否多様な意見あり。

第3回 高円寺地域の町会自治会長、商店会長、地権者 10名

- ・住む場所・店舗を失う、この地域に残りたいという切実な声があった。
- ・残りたい人たちのための施策の重要性。中野区との交渉、小さな共同建て替え、区の駐輪場活用などへの期待と提案があった。

第4回 一般応募者（20代から40代） 5名

- ・高円寺のイメージやまちづくりの方法論など多様な意見がでた。
- ・少人数だったこともあり、区長とのやりとりでも非常に盛り上がった
- ・高架下の活用などについても前向きな意見があった。

© suginamikenchikukai

1) 大事にしたいもの、残したいもの

- ・人と人の絆。他人のことをわかる心の和みやゆとり
- ・緑・保護樹木・井戸・お稲荷さん
- ・高円寺という文化。活気があり人情のまちである
- ・静かな住宅街。高い建物がなく、風通しや日当たりも良くて、大きな空があること
- ・この地域は人間関係が良く仲が良い
この拡張計画でその連帯にヒビが入るといのはまず避けたい
- ・高円寺の空気感。個性的な人、個性的なお店がたくさんある街
- ・ごちゃごちゃしているのも良い点

© suginamikenchikukai

2) まちの課題や良くしたいところ

- ・ 救急車や消防車が入れるよう道路拡張は必要。
- ・ 電柱の地下化
- ・ コモンスペース、コミュニティスペースを確保したい
- ・ 夜間は暗い、寂しい
- ・ 高円寺学園の児童たちのための安全な通学路
- ・ 歩行者と自転車が安全に行き来できる
- ・ 若い人、学校関係者が参加する町会・自治会に

© suginamikenchikukai

3) 道路拡幅で心配なこと

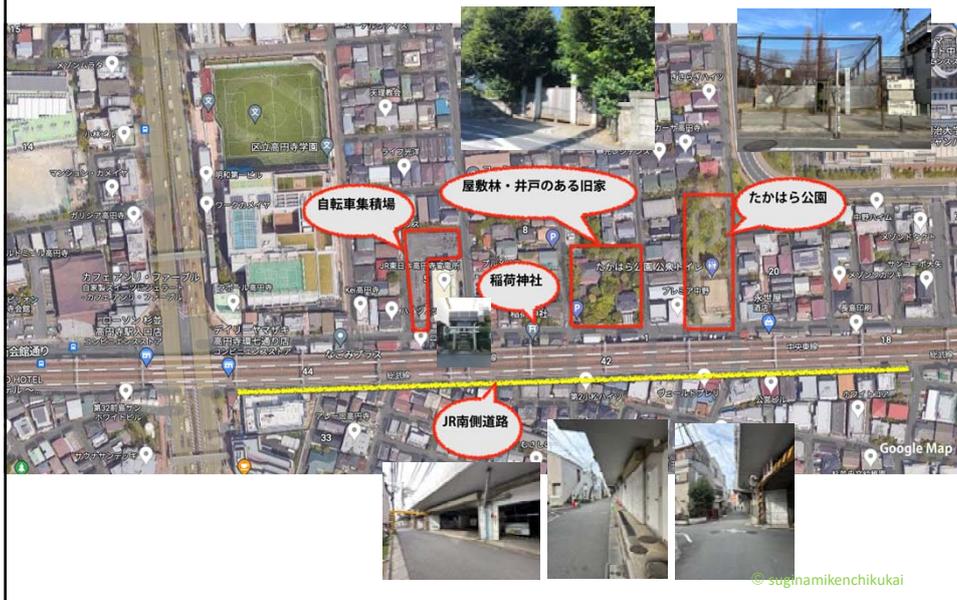
- ・ 住むところと店舗がなくなる
- ・ 賛成・反対と言った意見の相違で住んでいる人たちが分断される
- ・ 生活道路に車両が多く入ってくことで、静かさがなくなり、排気ガスによる空気汚染で環境が悪化
- ・ 高円寺という文化を壊してほしくない 残してほしい
その理由としては、活気があり人情のまちである
- ・ JRが高架になったことで繋がった南北高円寺が再び分断される

© suginamikenchikukai

4) こうしたらいいのでは? こうなってくれたらいいな

- ・小さい飲み屋がいっぱいあるようなところは高円寺の魅力中野までの道も高円寺らしさが出せると良い
- ・説得方法としてバーチャルリアリティー（VR）を提案したい
- ・スピードを出しにくい蛇行したボンネルフ型の道路にして、駐輪場やベンチを設け、お稲荷様や大きな木等を残す
- ・道は住んでいる人のためのものなので、子供や女性・高齢者にとって使いやすい道であってほしい
- ・高架下を有効利用したり、楽しい店が集まるような仕組み作りができるとうよい
- ・これからの時代を担う若い人たちの意見を聞く

© suginamikenchikukai



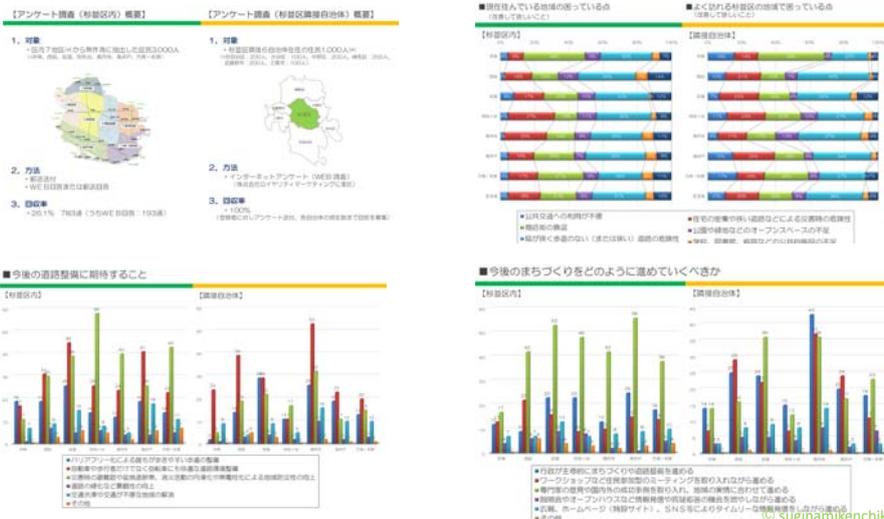
ファシリテーター（杉並建築会）から

- ・意見や立場の違う人たちと同じテーブルで話し合う機会は、非常に有意義だったのではないかと。
- ・JRの高架下や南側道路も含めて考えるべきという意見があったが、非常に大切なこと。
- ・行政にのみ期待するのではなく、地域住民の協力で解決できる方法なども議論することができた。
- ・道路の具体的な形状、運用方法などの可能性を議論できた。
- ・杉並建築会に対して、専門家の立場で積極的に関わってほしいとの意見は真摯に受け止めたい。

© suginamikenchikukai

まちづくりやこれからの道路整備に関するアンケート

区内7地域から無作為抽出3000名と隣接区在住者1000名にアンケート
令和4年 11.1～12.23



アンケートから読めること（区内居住者）

西荻地区

- ・自転車にも快適な道路環境整備に期待
- ・今後のまちづくりは、専門家の意見や国内外の成功事例を取り入れ、地域の実情に合わせて進める

高円寺地区

- ・災害時避難路や延焼遮断帯、消火活動の円滑化や無電柱化による地域防災性の向上が重要
- ・今後のまちづくりは、専門家の意見や国内外の成功事例を取り入れ、地域の実情に合わせて進める

© suginamikenchikukai

まだまだ、他にも沢山の意見やアイデアができました。

詳しくはHPに掲載されています！

さとことプレスト ホームページ
トップページ>>くらしのガイド>>まちづくり>>「対話」を大切にしたまちづくり>>さとことプレスト

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/machi/taiwa/satobrainst/index.html>



© suginamikenchikukai